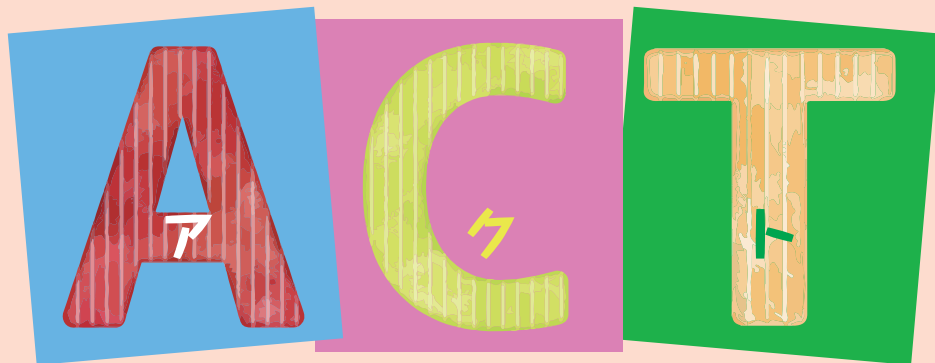




通信

会員数 5,724 人 共済契約数 1,696 件 ACTつながるケア時間数・金額 2,286 時間 5,778,850 円 (5月末)

ACTらしい人とのつながり
かたを、模索し実現させて
いけることを期待しています

ACTはたすけあいの互助活動
ということを改めて思っています

第22回 ACT総会特集号



フルタイムで働いている人
や若い人が参加しやすい
しくみをつくってください

コロナで再認識した今！
地域で支え合うしくみが必
要ですね

「ピンチをチャンスに!!」
応援しています

地域ACTってなんですか。
私の今いるアクトって
何アクトなんですか

第22回 ACT総会のご報告

2020年5月30日(土)14:00～15:30
於：ACT会議室

2020年度はこんなことしよう、何ができるだろうかと、計画をたてていた昨年末から一転しました。新型コロナウイルスの感染拡大の防止と会員参加者の健康を考慮し、総会は書面表決・Web表決・委任状をもって行なわれました。5,804人の会員総数に対し、書面・Webの表決者636人、当日出席者による採決1人で総会は成立し、全議案賛成多数で承認可決されました。理事長挨拶のあと、副理事長と専務理事より各議案について提案、監事より監査意見が述べられました。

●議長：田中のり子（中野区在住）

議事録署名人：佐久間瑠美子（杉並区在住）・豊泉惣子

第1号議案「2019年度活動・事業報告・決算・監査報告」	賛成 637	反対 0	
第2号議案「2020年度活動・事業方針および事業計画・予算の決定」	賛成 633	反対 3	無効票 1
第3号議案「2020年度借入金最高限度額の決定」	賛成 637	反対 0	
第4号議案「補充役員選出」第5号議案「議案決議効力発生」	賛成 636	反対 1	

【2019年度のふりかえり（事業報告）】

地域ACT	昨年度の文京に続き、杉並、小金井が誕生しました。準備会は東村山、府中、武蔵野、町田、国分寺、世田谷が立ち上がりました。（これから続々誕生予定！）
ACTつながるケア （自立援助サービス事業）	ケア時間は伸び悩み対昨年度比88%でした。
ワーカーズ誕生	八王子に、たすけあいワーカーズ「バードハウス」と、まちの縁がわ「すずのなる木」が設立！！
アビリティ共済	ポスターを初めて作成。新たな取り組みとして、ACT通信に資料請求はがきを同封したが、目標110人に対し41人の加入。
新たな試み	拡大キャンペーンとして加入者プレゼント実施。 生活クラブデポの店頭で、ACT運動グループの紹介。21人の加入。 「意見交換会」「なんでも話し隊」が会員の声を直接聞くために訪問。 「見守りサービス試験的取り組み」を実施。事業性・採算性から見送ることに。地域ACTの中で見守りのしくみづくりを考えます。
いきいきサークル	いきいきサークルの登録目標100に対し94。昨年度から7サークル増えました。

2020年度 （事業方針・活動計画）

仲間づくりは地域づくり

ACT会員とアビリティ共済の加入者を増やしていきます。

ACTは…

1992年、高齢化をはじめ様々な地域の問題をおおぜいの力で解決するために、みなでお金を出し合い、利用、運営するという方法を取り入れて、「アビリティクラブたすけあい」を設立しました。「ACT」は会員一人ひとりの能力を発揮したすけ、たすけられるしくみです。

ACTの様々な活動を支えているのは、「会費」と「アビリティ共済からの寄付」。この大きな二つの支えが「誰もが最期まで安心して暮らせる地域づくり」の原動力です。

今年度は12の地域アクト創立で合計15を目指します。

地域ACTとは…

地域ACTは自治体ごとの緩やかなACT会員の集まり。地域のACTや生活クラブ運動グループと一緒に描いた「市民版地域福祉計画」に位置づいています。地域ACTの運営は会員が担い、会員が持つ力を活かして、会員同士の「お互いさま」の小さなたすけあいをつくりながら、豊かに安心して暮らし続けられるまちを創っていきます。

「ACTつながるケア東京」はPJチームを作り、幅を広げ、視点を変えて様々なニーズに応える事業を検討していきます。

ACTつながるケア （自立援助サービス）

設立7年目の1999年、会員は6,700人、ACTつながるケアを担うたすけあいワーカーズは33団体、ワーカーズ・メンバー1,300人、ACTつながるケアの提供時間206,838時間はその年をピークに減少傾向。昨年度はワーカーズの数、ワーカーズ・メンバーはほぼ横ばいですが、ACTつながるケアサービスの提供時間は大幅に減少しています。

楽しい！ためになる！元気が出る！活動を展開し、仲間を増やします。

会員活動 いきいきサークル

サークル活動は地域の人たちが知り合うきっかけ。今年度は150サークルを目指します。

仲間を増やす活動



生活クラブデポの店頭でACTの魅力のアピール！加入された方には素敵なプレゼント

お友だちをご紹介ください

ACT運動グループ だれでも共同の家

会員の想いを形にした「終の棲家」を3つのテーマでチームをつくり具体化を検討していきます。

1. 少ない年金＋αで暮らせる家
2. 個々の暮らしや思いを大切に
する上質な家。
3. ハンディがあっても地域で
暮らし続けられる家



新役員紹介

五十嵐泰子さんの退任に伴い、ACTたすけあいワーカーズ・コレクティブ連合から常松恵子さん（小金井市 たすけあいワーカーズほっとわあく）が就任され、共にACTのたすけあいを広げていきます。

第22回 ACT総会のご報告

会員からの Q&A

第22回総会では、書面、Webによりたくさんの意見や質問をいただきました。紙面での回答だけでなく改めて意見交換会の開催も考え、これからの活動に生かしていきます。

ご意見ご質問
ありがとう
ございました！

ACTつながるケア (自立援助サービス事業)について

Q 「どのように
取り組んでいくのですか」

A 超高齢化、孤立する子育てなど社会が多様化する中、一人一人が必要としていることも様々です。暮らしの中の「困った」を受け止め、困っていることの本当の問題はどこにあるのか、どのようにケアを行なっていけば良いかを、柔軟に対応していきます。そのためのスキルアップ研修を、たすけあいワーカーズ連合と行ないます。
そして、つながるケアを必要に応じ提供できるようサービス提供者となる働き手を増やします。
今年度、ACT運動グループでは介護保険事業に取り組んできた20年の振り返りを行ない、今後ACTが会員や地域の人にとって何をするべきか、つながるケアをどのように拡げていくかを考えます。

Q 「利用料金は
もっと安くないのですか」

A 赤ちゃんから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず、すべての方のあらゆるニーズに応え続けるためには、採算性の取れる事業であり、働き手にとっても安心して働ける場である必要があります。そのため2018年に自立援助サービス検討プロジェクトで議論を重ね現在の料金設定になりました。

会員数の減少と 共済の寄付金について

Q 「会員数の減少が心配ですが、
大丈夫ですか」

A 会員の年齢層は高齢化しています。最期まで日々の暮らしが安心して送れるよう地域ACTを創り、ACT会員で良かったと思ってもらえるしくみを実現します。また、若い世代の方やフルタイムで働いている方々が参加しやすいしくみや企画を立てて新たなアプローチをはかっています。

Q 「アビリティ共済の配当金は
もどらないのですか」

A NPO法人であるACTは「特定非営利活動促進法」により利益を会員に分配することができません。
たすけあいを進める運動（共済制度）から生まれたACTは会員同士がお互いに支えあってお金を循環させてまちづくりを行なっています。共済の配当金がACTに寄付され、それがACT会員のためのまちづくりの原資になっています。今後は共済の寄付金の使われ方をわかりやすく「見える化」していきます。

ACT会員の暮らしをサポートする2つの新規事業をご紹介します

葬祭

自分らしく、また故人の望みを 生かしたやり方で送りたい

たくさんのお花に囲まれて、好きな音楽の流れる中で見送りたいと思っても、どう頼めば良いのかよくわからない。いったいどの程度の費用がかかるのかしら。元気なうちでも、亡くなられた時でも、それぞれの希望に合わせてコーディネートする葬祭事業者をACTが紹介します。いざという時連絡をすれば、すぐに駆けつけてくれる心強い味方です。煩わしい葬儀業者との仲介を行ない、明朗で納得のいく価格で送ることができます。

■ 連絡先 葬祭サポートセンター
☎ 03-5311-6762

片付け

小さな片付けから一軒丸ごとまで

たまってしまった色々なものや大きな家財を、整理したいけれど自分では出来ない。施設に入るので今住んでいる家の後片付けを頼みたい。部屋を介護しやすく整理したいなど…生前整理や遺品整理などが必要になった時、ACTがおすすめする、安心して任せることができる事業所をご紹介します。

■ (23区内) 企業組合あうん ☎ 03-5604-0873
■ 多摩地区 一般社団法人共働事業所よって屋
■ (23区外) ☎ 042-319-1001

詳しくは同封のチラシをご覧ください

お葬式も片付けのことも直接お電話でご依頼されるか、またはACTへご一報いただければ上記の提携事業者におつなぎします。

連載 コラム

男女共同参画社会促進に向けて(5)

統計と男女共同参画

かど よく
角 能

ACT理事
内閣府男女共同参画局

今回は男女共同参画社会の現状改善のために、意識調査統計を事例に考えてみます。意識調査は、今後の社会の動向を占う上で重要な統計の1つです。この調査結果が政策に反映され、社会が変わっていくきっかけになります。一方、正確な事実の把握が難しいのも意識調査です。

男女共同参画社会に関する意識調査は、まだ有効活用には課題があります。その1つは一般的な意識調査と自分自身への意識調査が混在し、両者の違いについて必ずしも人々は自覚的でないことです。たとえば結婚に関する意識調査において、前者においては結婚をするしないは各個人の自由であるという意識が多数派

ですが、後者において自分自身は将来結婚を希望する方が多いのが現状です。

ここで重要なのは、他人の結婚に対して寛容な一方で自分自身は結婚したいという志向が存在している現状について、両者の違いを抽出できるような調査設計を行なうこと、そして調査結果から読み解くことです。両者を混同して、結婚は個人の自由と思っているのだから未婚者が増えても全く問題ないと解釈したり、逆に結婚を希望している人が多いのだから未婚は好ましくないや錯覚することは避けなければなりません。この統計から読み取れるのは、結婚を妨げている要因を除去していくと同時に、結婚しなかった場合

にハンディを背負わない制度作りの必要性です。これこそが多様性の尊重の土台作りに向けたジェンダー統計※の活用法の1つだといえます。

※ジェンダー統計（男女別等統計）とは、「男女間の意識による偏り、格差及び差別の現状並びにその要因や現状が生み出す影響を客観的に把握するための統計」のこと。



「入っててよかった！ アビリティ共済」の声をひろげよう

／ここが違う！／

アビリティ共済

共済には、都民共済やコープ共済などいろいろありますが、アビリティ共済には ACT 設立以来自分たちで考えてきた、ACT ならではの「たすけあい」の特徴があります。

お祝いの気持ちが
うれしい！

「たすけ愛」「たすけ愛プラス」プランには、ACT からお祝いの気持ちとして、出産お祝い金（5 万円・配偶者の出産も対象）、長寿お祝い金（1 万円・77 歳の更新時）の制度があります。

どのプランでも
「ワーカーズ・ケア保険金」が
ついています！

入院、手術やケガなどで日常生活が困難になり、提携の「たすけあいワーカーズ」に家事などのサポート（「ACT つながるケア」ー自立援助サービス）を依頼すると、その費用が受け取れます（上限 20 万円）。「一日も早く普段通りの生活に戻りたい」という願いに応える保障です。

配当金寄付の一部を地域の
まちづくり活動に役立ててい
ます！

寄付していただいた配当金は、会員による地域のコミュニティ活動を応援するための資金として活用されます。たとえば「地域 ACT ※」や「いきいきサークル ※」への活動費補助など、会員の自主的な活動を応援しています。
※地域 ACT、いきいきサークル…
本紙 P 3 参照。

使える！アビリティ共済

思いがけないケガや病気。「入っててよかった！」という声が届いています。（「入っててよかった！事例集」より抜粋）



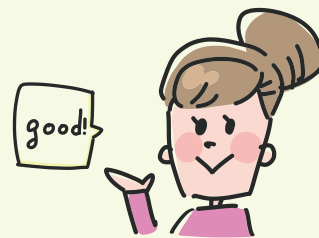
手続き書類も 2 日目に届きました。とにかく全てがスピーディーで ACT 共済（アビリティ共済）に対しての信頼が再確認できました。



退院後も体調がなかなか回復せず、台所になつことさえも辛かったです。そんな時、「たすけあいワーカーズ」のヘルパーさんに調理をしてもらいながら辛さを聞いてもらい、精神的にも助けられました。



同封の冊子「入っててよかった！事例集」もぜひご覧ください。



退院時の支払いの多さに驚かされましたが、共済金が出るのを思い出して請求しました。支払いの一部にあてることができ、助かり、ホッと致しました。

使う人が考えた安心の保障プラン！

アビリティ共済

「共済」は、仲間どうしが少しずつお金を出し合い、困った場合に使ってもらおうという、たすけあいの精神から作られたものです。ACT では会員どうしのたすけあいとして、1992 年にアビリティ共済を設立し、入院・手術・傷害通院・死亡保障などの他に、独自の「たすけあい」をすすめてきました。2006 年の保険業法改正を受け 2008 年からは「少額短期保険」となりましたが、たすけあいの精神は変わっていません。アビリティ共済は、私たち ACT 会員のための共済です。

右・出前学習会：紙人形を使い「ワーカーズ・ケア」をわかりやすく説明
下・たすけあいワーカーズ交流集会：
共済クイズで盛り上がりしました



共済委員会では

毎月、たすけあいワーカーズから選出された共済委員が集まり、アビリティ共済の良さをどのように伝えていくかを話し合っています。

2019 年度には、わかりやすく保障内容を説明した紙人形劇を上演しました。ライフプラン講座や 2 月に行なわれた「たすけあいワーカーズ活動交流集会」で共済をアピールしました。2020 年度もさらに充実した内容で実施していきたいと思います。



「介護従事者に対する 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」 ACT 運動グループや他団体と連携して東京都と国に要望書を提出

新型コロナウイルス感染症拡大により、在宅サービスを担う介護従事者は大きなリスクを負っています。高齢者や障がい者の生活を支え日夜奮闘していますが、安心して働ける環境整備が必要です。しかし一方、公的支援は充分でなく、実態の認識は薄いため、現場からの声を届けることが重要です。具体的な感染症予防対策として、マスク・消毒用アルコールの配布、PCR 検査の優先、特別手当の給付などを求めました。また、利用の減少や通所の休止などを余儀なくされ、事業運営にも陰りが見え始めています。これでは益々介護人材の不足が予測されます。基本的な介護報酬のアップは緊急課題です。介護の社会化を後退させないため、今後も東京都や国へ実体にあった支援や、介護保険制度の改善を求めていきます。



ACT 活動報告

まちの縁がわ「木・々」の活動 改めて、市民力、地域の協働、居場所の 大切さを知る

コロナ禍で突然の休校、子どもたちは学びと給食を断たれました。4月から子ども食堂や宿題ルームに参加している子を中心に、お弁当（無料・週4回）の提供を始めました。大根やパスタを抱えてお弁当を取りに来る子どもたちの笑顔と、多方面からのカンパに支えられて、元気を貰い充実した日々で、乗り切っています。子ども家庭支援センターの紹介等で来るようになった、父子家庭やネグレクトと思われる子を見て、助けてといえない子が増えているはず、どこにも繋がっていない子を見つけて支援する必要性を実感しています。これは行政の喫緊の課題です。私たちは、市民の力、協働の力、おばんパワーを少し背伸びして発揮し、今必要なことをやりたいと思います。

（西東京・ワーカーズまちの縁がわ木・々 鈴木美紀）

地域ACT 小金井ACT ぼちぼちスタート！

最初からアクシデント！コロナ禍での設立集会 3月25日の中止を余儀なくされました。準備会としては活動制限解除を待つよりも、ぼちぼちでも動きだそうということで、三密防止体制での小集会「設立宣言集会」を開催。それまでのアンケート活動などでの会員の意見（いくらあってもいい見守りのしくみ、子どもたちの育ちが不安・・・など）も含め、小さな思いを繋ぎ合わせ、もう一つの安心を創っていただくと確認した集会でした。先達の「たすけあいワーカーズ ほっとわあく」や「ワーカーズまちの縁がわ わ・おん」の大きな協力をもらいながら、少しずつ始めます。

ACT会員集会開催を期待しつつ、まずは「小金井ACTしんぶん」でも創ってみよう！！

（小金井ACT代表：池口葉子）

ACTインフォメーション

講座中止のお知らせ

毎年開催していた、「ACTコーディネーター養成講座」と、「まちの相談パートナー養成講座」は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止とさせていただきます。講座で予定をしていた講師の方々からのメッセージや情報提供を随時、ホームページ等で掲載していきます。ぜひ、ご覧ください。また、ふたたび、皆さんと集える日がくることを願っております。

（研修・人材育成担当）

ACTコミュニティ活動応援基金助成 公開ヒアリング

8/8（土）午前、ACT会議室で行ないます。参加をご希望される方は事前にACT事務局までご連絡ください。三密を避けるために、定員を超えたときは、感染予防にご協力いただくこともあります。

皆様のご協力とご寄付に御礼申し上げます

ACTコミュニティ活動応援基金
49件 294,000円（6月末現在）

編集後記

リニューアルACT通信いかがでしょうか。ACTの活動をわかりやすく、多くの会員の参加とつながりが増えるような紙面にしたいと思います。あなたの地域の情報や、こんなこと載せて！などをお待ちしています！（さっちゃん）

特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい

〒164-0012

東京都中野区本町 1-13-18 大新NSビル2F

☎ 03-5302-0393 FAX 03-5302-0394

E-mail : tokyoact@maple.ocn.ne.jp

<https://npoact.org/>



「Facebookで
「いいね！」してね」

